広報かめだ

発行所 亀田町役場　編集企画課

7月

毎月1回1日発行

NO.46

人口のうごき

世帯数5.275　(47.5.31現在)

区分	人口	出生	死亡	転入	転出
総数	22,754	39	6	84	75
男	11,041	20	4	40	32
女	11,713	19	2	44	43

体力づくりの季節

夏！いよいよ海に山に自然と親しむよい季節です。

人間だれしも健康でありたいと願わないものはありません。しかし健康であっても体力がなければ困ります。そのためには早起きして散歩したり、体操をすることが習慣づけられている人は健康であるとともに体力もついてきます。

健康の意味は（一定の社会環境下に心身ともに何ら障害がなく、日常の生活や仕事ができる状態）といわれています。

体力とは（人間が生きていくうえで基礎となる身体的能力）といわれておりますが、一般にはスタミナのある人、主として身体の活動力、持久力、ガンバリをいうようです。

このように健康であるためには体力づくりが大切です。てっとりばやい体力づくりの方法は、まず歩くことです。

町でも歩け歩け運動が盛んです。

老化は、まず足から、うしろ姿で若さがわかる。

歩くことは、わたしたちの運動の基本です。からだの筋肉の60～70％を動かし、血のめぐりを盛んにします。足のおとろえは20代の後半からおとろえ出し、44～45才で最盛期の7割ほど退化します。とくにおしりのすぐ下にある太モモの筋肉のおとろえが早く、うしろ姿で、その人の肉体年令がわかります。

あなたは一日どのくらい歩いていますか？

一日の歩く数

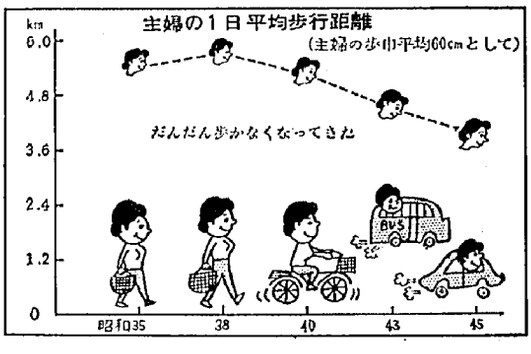
女子高校生　九、〇〇〇歩

オフィスガール　七、〇〇〇歩

最低一日一万歩は歩く必要があるといわれておりますのでみなさんもなるべく歩くことにいたしましょう

公民館では、毎月第三日曜日、家庭の日に歩け歩け運動を実施しております。

毎回多数の参加があり、主催者はうれしい悲鳴をあげております。みなさんもぜひ体力づくりのためにご参加ください。



7月10日に「交通安全都市」を宣言

九時十五分、町民一斉黙とうを

新潟県が「交通安全県宣言」を行なってから十年を迎えました。亀田町もこれを契機に、交通安全宣言日である七月十日午前九時を期して「交通安全都市」を宣言します。わたしたちの町も年々激増する車両によって、交通事故の犠牲者があとを絶たないことから、事故者の冥福を祈り、人命の尊さを知るとともに交通ルールを正しく守り、町民一人一人が確認しあい、「交通事故のない明るい亀田町」を築くため「交通安全都市」を宣言するものです。

当日は、午前九時より諏訪神社境内で（雨天の場合は公民館）亀田町交通安全宣言式典を行ない、式典終了後「交通安全宣言」パレードを行ないます。住民のみなさんの多数の参加をお願いします。

⊙主な内容

一、交通事故犠牲者に対する追悼の黙とう

七月十日午前九時十五分、役場のサイレンを合図に全町民一斉に黙とうを行ないますので、ご協力願います。

二、交通安全宣言パレード

○日時　七月十日午前十時三十分～正后まで

○コース

公民館～諏訪町～諏訪十字路～稲葉四ッ角～午道～円行寺～都町～三ッ又～第一保育所～木了肉店前～公民館。

三、交通安全に関する児童生徒の作文、及びポスターの募集

小、中学校四校の児童、生徒を対象に、作文、ポスターを募集し、優秀作品を表彰します。

以上が事業概要ですが、交通事故の恐ろしさを、いま一度認識し、交通事故のない町づくりのため、住民のみなさんのご協力をお願いいたします。

県青年海外派遣団員 募集！

県では次代をになう本県青年に広く海外の実情を視察し、国際的視野を広めるとともに訪問国の青年との交流を行ない国際親善に役立て、青少年の健全育成をはかろうと海外派遣団員を募集しております。

派遣地域	東南アジア
期　日	昭和48年2月
年　令	20才以上26才未満の男女
作　文	青年海外派遣に応募して
申　込	7月10日まで

くわしいことは、町教育委員会までお問い合せ下さい。

昭和47年度 第一回区長会議を開催

七名の永年勤続者を表彰

去る六月五日午後一時から、青年研修所において本年度第一回の区長会議が開催されました。

当日、議題に先がけて永年勤続区長の表彰がありました。次の人が表彰されました。

◎永年勤続区長表彰

○十年勤続者

十一区　栗田　忠一氏

十三区　鈴木　孝一氏

○二十年勤続者

二区　坂井　倉次氏

八区　古野間久三郎氏

二十二区　亀山　兵次氏

二十七区　片山　三次氏

三十一区　立川喜八郎氏

引きつづいて国民健康保険税納税成績優良地区（九十七%以上）の表彰が行なわれ、次の地区が表彰されました。

六区（上町地区）

十区（桜町地区）

十一区（諏訪甲地区）

二十七区（袋津宮前地区）

二十八区（袋津向地区）

三十七区（所島地区）

三十八区（鵜ノ子地区）

三十九区（泥潟地区）

四十区（手代山地区）

四十一区（茅野山地区）

表彰につづいて行なわれた区長会議に次の議題が提案されました。

一、日赤社費の取りまとめについて

（各世帯から三〇〇円を目標として募金してほしいこと）

二、昭和四十六年度各種募金の報告について

○日赤　八二三、六〇〇円

○社会を明るくする運動　一七五、四三五円

○社協会費　五〇、二一〇円

○茅野山火災義援金　三一〇、六二〇円

○赤い羽根共同募金　九二三、九二三円

○歳末助け合い募金　四三九、八三一円

三、老人医療費の助成について

（昭和四十七年度から七十五才以上の老人医療費を無料化したこと）

四、用途地域の変更について

（作年八月に用途の指定がありましたが、法の改正により、当町では住居地域、商業地域、準工業地域の三種類でありましたが、住居地域が第一種住居、第二種住居、住居の三つに分割され、商業地域を商業地域と、あらたに近隣商業地域を設ける町の案ができたので説明会の日程などの説明です）

五、総合計画について

（町の総合計画の基本計画の重点目標は、公共下水道の推進と総合会館の建設であるなどの説明です）

六、ごみ処理について

（七月一日から、ごみ処理については、燃えるごみ、燃えないごみに分けて収集、大型ごみは直接焼却炉へ搬入してもらうなどの、ごみの取扱方法です）

七、交通災害共済組合の加入の促進について

（昨年、交通災害共済に加入されていて、交通災害見舞金を受けられた件数が五七件もあったので未加入者に加入依頼をしたものです）

八、納税について

（納税についてのお願いです。特に町からタバコを買うと、タバコ消費税が町に入るのでタバコを町から買うよう協力してくださいとのことです）

雨期の豪雨 水中出集

災害に備えて いまから心がけを

出水期、つゆの終りごろに多く起る集中豪雨これは僅かな時間に多量な雨が降ることで、いつどこにどのくらい降るかということは、いまの気象学上では見当がつかない現状だといわれています。

これまでの統計上からすると、一年間を通じて七月がもっとも大雨の降る日が多く八月、九月の順となっています。

つぎのことに注意

◎テレビ、ラジオによる気象情報や防災上の注意事項をよく聴取して、その内容に応じた対策をたてましょう。

◎停電に備えて、懐中電灯、ローソク、トランジスタ－ラジオなど用意する。

堤防や護岸の近くに住んでいる人は、川の水かさに注意する。

避難するときの注意

◎平素から避難場所と安全な道順をおぼえておく。

◎町役場から避難準備の勧告や指示があったら、いつでも避難のできるよう準備する。

◎女子、こども、老人病弱者は早めに避難させる。

◎避難命令がでたら火の始末をして避難する。

雨期集中豪雨

そんな時の用意にこれだけは忘れないで

胃部検診結果についてお知らせ

5月29・30・31日研修所に於て実施しました巡回検診車による胃部検診の結果は、すでに連絡のあった者をのぞき異常ありませんでしたのでお知らせします。

町内ぐるみで参加しよう！

梅雨（つゆ）あけの七月二十三日 町民運動会

町公民館では、住民の体力づくりの一端として昨年につづいて町民運動会を七月二十三日（日曜日）に決定しました。

昨年、八年ぶりに町民運動会の復活を図り、六月二十三日に予定しましたが雨にたたられ三度の延期で、ようやく十月三日に開催しました。

ことしは昨年の失敗をくりかえさないように、梅雨があがると思われる七月二十三日に決定し、準備をすすめています。

体力づくりのために、全町内によびかけ大運動会にするために努力しますので住民のみなさんのご協力をお願いします。

◇――◇――◇

とき　七月二十三日（日曜日）午前九時より

ところ　亀田小学校

競技種目などについては全戸にチラシを配布します

税金についての相談・苦情は

＝税務相談室へどうぞ＝

自分の所得を計算し、納税する制度になってからすでに20年余の歳月がたちましたが、いまだに税金についての不平や苦情が少なくありません。

そこで相談室では、税金に対する苦情やいろいろな相談に応ずるために、相談所を開くことにいたしました。

どうぞ、ご遠慮なくご利用ください。

なお、相談はすべて無料です。

とき　7月12日　午前10時～午後3時

ところ　亀田町商工会議所

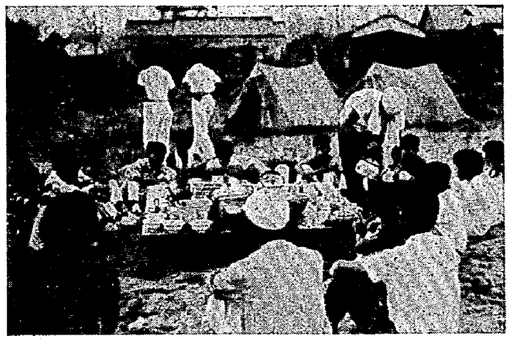
相談員　新潟税務署派遣

税務相談員　坪田正治

主催　亀田町商工会議所
亀田中小企業相談所
亀田町役場

夏休みの 体力づくりをキャンプで

公民館で貸出し



公民館では、毎年こどもたちの夏休みを利用して、備えつけのテントを無料で貸出しをおこなっています

年々、貸出し需要がふえて、十張のテントでは、みなさんの希望に添えないので、今年は五張をあらたに購入してみなさんの要望に応えていきます。

どうぞ次のルールを守って使用ください。

一、申込み受付

七月十日から七月三十一日まで公民館で受付けしています。（但し、日曜日は除く）

二、貸出しテント制限

一人の申込みについて、二張まで

四、テント数

・八人用　一張

・六人用　七張

（うち底なし一張）

・五人用　六張

（うち底なし一張）

・四人用　一張

五、注意事項

テントを切ったり、汚したりした時は戻すとき必ず報告してください。

なお電話での申込みは受付いたしません。小、中学生の場合は保護者が申込んでください。借りられる方は必ず印鑑をお忘れなく。

七月二十五日、二十六日二十七日の三日間は公民館で野外講習会のため貸出しはいたしません。

このサークルに あなたもどうぞ

実の唱団 梨合

虫のアリをわたしたちは「アリゴ」という。また、亀田の特産は梨であることから、アリと梨を合わせて「梨の実」とサークルの名称で発足して約十二年とのことである。

リーダーの荒井克夫さん（四二）＝元町三丁目、東北電力勤務＝によると、合唱団の発足は「十二年前ごろ」とのことで定かではない。最初、歌の好きな人が純粋に音楽を楽しむだけのサークルで、荒井克夫さんの自宅に集まって歌っていたという。

現在、団員は二十五人で年令は十代から四十代と幅広く、サラリーマン、農業従事者、OL、保母さんなどさまざまであり、町の成人式や勤労者のつどいなどには必ずといっていいほど招かれ、〝町の人気者〟です。

歌は賛美歌から労働歌まで。特定のジャンルを持たず、最近ではフォークもこなし、練習は毎週月曜日午後七時から公民館で行ない新潟市の合唱団や国鉄合唱団とも一緒に歌ったこともあります。

このサークルは、政治や宗教と関係しない規則になっており、堅苦しいものがなく、音楽を楽しむだけとなっています。

リーダーの荒井克夫さんは、今後はママさんたちに加入を呼びかけて行きたいといっております。

梨の実合唱団に入団を希望される方、あるいは問合せをしたい方は、荒井克夫さん方、☎3860番まで連絡ください。

※　※　※

※　※　※

七月の活動予定

公民館

七月、八月は町民運動会を中心に、いろいろな大会を計画しています。

みなさんも、体力づくりのため積極的に参加をしてください。

九日（日）…町民婦人バレーボール大会（前8・30分、亀田中学校）

十二日（水）…町民運動会各区代表者会議（后7時公民館）

十六日（日）…歩け歩け運動（前6時、公民館前集合）

二〇日（木）…ラジオ体操講習会（后7時、公民館）

二三日（日）…町民運動会（前9時、亀小グランド）

二六日（水）二七日（木）…野外活動研修会（二六日午後三時～二七日正午までキャンプ北山広場）

七月十四日 農委の統一選挙

定数十八名

町農業委員が七月十九日に任期が満了となりますので、七月十四日（金曜日）に農業委員の選挙が行なわれます。

町農業委員のうち、選挙による委員（定数十八名）が七月十九日に任期が切れるので、町選挙管理委員会は七月七日告示、七月十四日を選挙日といたしました。

この選挙は、県下の市町村が統一して行なうものであり、立候補の届出は七月七、八日、二日間（午前八時三十分から午後五時まで）となっていますから立候補される方は、届出書並びに戸籍謄本など必要ですので、事前に選挙管理委員会事務局（住民課）に連絡して遺憾のないようにしてください。

◇選挙権及び被選挙権

選挙権は町農業委員会区域内に住所を有する年令二十才以上（三月三十一日現在）で農地10アール以上耕作の業務を営む者及びその者の同居の親族、またはその配偶者で年間おおむね六十日以上耕作に従事するもの。被選挙権の年令は選挙期日現在による。

但し、禁治産者又は禁こ以上の刑に処せられ執行中のものを除く。

◇投票区

投票区については三区にわけられています。

○第一投票区

東船場、本町、旭、東本町、西町、中島、大月、船戸山、新明町、元町、稲葉、諏訪、水道町、袋津、砂岡、東町、砂崩、所島、曙町、荻曽根

○第二投票区

城山、城所、日水、茅野山、手代山

○第三投票区

鵜ノ子、泥潟、上、中、下早通、長潟、丸潟

◇投票所並び投票時間

第一投票区投票所　亀田町公民館

第二投票区投票所　日水栄徳寺

第三投票区投票所　早通小学校

投票時間　午前七時から午後六時まで

◇このたびの選挙人名簿登録者数（三月三十一日確定）

第一投票区　男三六七名、女三二六名　計六九三名

第二投票区　男二三八名、女二四三名　計四八一名

第三投票区　男四五〇名、女四四〇名　計八九〇名

合計　男　一、〇五五名　女　一、〇〇九名　計　二、〇六四名

7月保健課予定

日	曜	時間	実施内容	該当	会場
3	月	后1.30～2.30	日本脳炎予防接種	3才～15才迄 55才～64才迄	健葉育園室 保稲保子と母も第二
17	月	后1.30～2.30	乳児検診	47 4生	〃
19	水	〃	〃	46.10生	〃
18	火	后1時開始	母親学級	個人通知	公民館
25	火	后2時開始	離乳食講習会	47. 3生	健葉育園室 保稲保子と母も第二

新刊本紹介

公民館

- 朝日年鑑　朝日新聞社
- 話し方のマナー　塩月弥栄子
- グアムに生きた二十八年　朝日新聞社
- 樹氷　五木寛之
- 日本史探訪(3)　海音寺潮五郎
- 小六法　我妻栄
- 日本の民俗(9)栃木　尾島利雄
- 日本の民俗(24)三重　堀田吉雄
- わび　水尾比呂志
- 広辞苑　新村出
- 長良川　豊田穣
- 続長良川　豊田穣
- 信濃川　田中志津
- 見かえり峠の落日　笹沢佐保
- 赦免花は散った　笹沢佐保
- 人民をわすれたカナリヤたち　永山則夫
- 八甲田山の彷徨　新田次郎
- 天皇賞レース殺人事件　草野唯雄
- 悪への招待　西村京太郎
- 対論　五木寛之、野坂昭如
- その時がきた　佐藤愛子
- ユニコーンの旅　五木寛之
- 城塞（上）　司馬遼太郎
- 銭の花(6)　花登筐
- 雑学事典　毎日新聞社
- 続雑学事典　毎日新聞社
- デノミネーション　西山武典
- 輪環　瀬戸内晴美
- 強制結婚　戸川昌子
- 続創価学会を斬る　藤原弘達
- 世界恋愛詩集　矢崎源九郎
- チボー家の人々(1)～(5)　山内義雄訳
- 潮は騒っている　富島健夫
- わが校のホープ　浜野卓也
- 負けてたまるか　松平康隆
- さらばハイウエイ　砂田弘
- 銭の花(7)　花登筐
- 城塞（中）　司馬遼太郎
- 城塞（下）　司馬遼太郎
- 人生の本(6)　なだいなだ
- 母と子うたとかんさつ　ABC(1)～(10)今泉吉典(監)
- 職争と人間(14)五味川純平　三島由紀夫
- 鏡子の家(2)　市場直次郎
- 日本の民俗(41)佐賀　読売新聞社
- 昭和史の天皇(18)　講談社編
- 子どもの本の学校
- からだの読本(1)(2)　暮しの手帳社
- 毎日のおかず　マダム編集部
- 旅の重さ　素九鬼子
- まだらの紐　野田開作訳
- 四つの暗号　武田武彦訳
- 吸血鬼　内田庶
- 大深海一〇〇〇〇米へ　日下実男
- 幽霊を科学する　瀬川昌男
- 第四惑星の反乱　中尾明訳
- 宇宙少年ケムロ　白木茂訳
- 砂漠の塩　松本清張

おたんじょうおめでとう

	世帯主	区
清隆	進藤哲春	45区
浩	岩田嘉穂	37区
譲治	山本勇	5区
尚文	西山荘治	32区
恵	小泉一男	30区
雅代	酒井与四男	22区
美樹	池田光雄	12区
智子	近藤俊夫	16区
幸次	五十嵐栄作	23区
伸明	西山伸一	36区
正美	五十嵐正	32区
美奈子	阿部勇作	34区
加奈	小島進	50区
真亜	西利文	22区
智	五十嵐文男	11区
幸一	高橋隆	48区
聡	宮木芳夫	3区
正紀	遠藤紀男	34区
篤	広川猛	49区
昭市	佐藤明夫	47区
学	大澤拡	43区
ゆかり	須戸武志	9区
幸子	馬場護郎	34区

おくやみ（死亡）

	世帯主	区
佳子	朝倉孝士	15区
篤	熊倉秀忠	45区
恵子	村山龍男	25区
素子	荒井浄	11区
尚子	渋谷和之	12区
貴子	斎藤完栄	24区
正明	村木輝彦	49区
佳奈子	上村博	37区
ゆき美	佐藤貞助	23区
光代	佐藤寺尾春夫	46区
仁	熊倉正美	24区
純一	池田朋和	45区
直彦	桜川景明	2区
明美	藤田仁一	30区
紀子	蛭川稔	22区
正年		49区
松澤マス	世帯主	41区
阿部秀雄		
勝山東一		34区
中野三四二		30区
乙川英城		32区
加藤留作		14区
ショ本人		19区
三四駄		

今月の当直医

2日…高橋医院（東本町）電話(31)2062番

9日…片桐医院（稲葉）電話(31)3320番

16日…亀田医院（新明町）電話(31)2348番

23日…藤崎医院（本町）電話(31)3072番

30日…押木医院（本町）電話(31)2052番

◎渡辺病院（西町）電話(31)3111番

当直医が診療に応じます

◎中川医院（東本町）電話(31)3060番

◎堀・本図医院（東本町）電話(31)2349番

◎佐藤医院（下早通）電話(31)2878番

医師在院の場合診療に応じます